

# いば賀津也と歩む会 NEWS ニュース



平成17年1月1日発行

VOL.6

10,000部発行

## ごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。皆様方には御健勝にて新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。県下各地の「歩む会」の皆様には、日頃からひとかたならぬご支援とご指導を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

昨年は、静岡県の下田市にペリーが四艘の黒船を引き連れて来航し、日米修好通商条約を締結してから150年目の記念の年でありました。更には日露戦争から100年、自衛隊の発足から50年と日本の外交・安全保障にとって重要な節目の年でありました。「温故知新」と申します。我々は常に歴史に敬意と同時に反省の念を持ちながら、より良い社会づくりに努力をしなくてはなりません。

しかしこの節目の年、日本外交の現状は大変厳しいものでした。法だけでなく現地の治安状況を見逃して自衛隊を国外に送った「自衛隊のイラク派遣」を筆頭に「北朝鮮問題」や「沖縄の米軍ヘリ墜落事件」、「中国による領海侵犯」や「米軍の基地再編問題」など小泉外交への不安と不満が大きくなってきています。

国内政局だけに現（うつ）つを抜かして、政治ゲームに興じている暇は今の日本にはありません。それぞれの政党や政治家自身が「責任」と「自覚」を持って正々堂々と政策議論をしていくことこそ急務であります。また、本格的な地方分権の時代を迎えます。多様性を尊重しながら地域の力を伸ばしていくために、首長や地方議員と「国と地方の関係」を再定義していかなければなりません。それには「国民の政治参加」が不可欠です。身近な暮らしから日本の将来まで、すべてが政治問題です。是非、皆様と一緒に“この国のかたち”を考え、創造していきたいと思えます。

本年も変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう心からお願い致しまして、新春のご挨拶とさせていただきます。

参議院議員 榛葉 賀津也

## ごあいさつ



新年明けましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

ご承知の通り、民主党は次期衆参の選挙で政権交代を目指していますが、かつての自民王国から自民、民主がほぼ拮抗するまでになった静岡県がその鍵を握っています。当面の課題は、基礎づくりです。先ずは、早急に空白選挙区に候補者を擁立しなければなりませんし、県議、市議といった地方自治体議員の拡充も欠かせません。

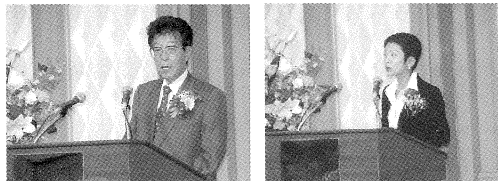
課題山積の中、榛葉さんは昨年からの民主党静岡県連幹事長として、持ち前の行動力を発揮し、縦横無尽の活躍をされています。今や県連の要であり、静岡の躍進、しいては民主党の政権交代は、榛葉さんの双肩にかかっていると言っても過言ではありません。

そんな榛葉さんへ今年も大いにご期待頂き、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

民主党静岡県連代表 衆議院議員 鈴木 康友

## 「しんば賀津也2004政治セミナー」を開催！

11月22日(月) ホテルセンチュリー静岡において「しんば賀津也2004政治セミナー」を開催しました。講師の蓮舂参議院議員からは、子を持つ一人の母として幼児虐待などに心を痛めていること、また今や日本にとって最大貿易国となった中国との関係をどうやって築いていくのかという2点について、明快な語り口で講演をいただきました。また「支援者がどれだけ多くの知恵を議員に授けることができるかが最も重要ではないか」とアドバイスをいただきました。次に渡部恒三衆議院議員からは、国会議員35年に亘る永年のご経験から「これからの日本」をテーマに講演をいただきました。小泉政権下において、果たして真に国民に向けた政治が行われているか？誰もが納得のいく政治を創っているか？等々、鋭い切り口で話されました。「政治は国民のものだ」この一言が胸に残る素晴らしい講演となりました。大盛況に終わった初めての政治セミナー。県内外各地からご参加いただいた500名以上の多くの皆様、またご支援・ご声援をいただいた皆様、本当にありがとうございました。



「政治は国民のものだ」この一言が胸に残る素晴らしい講演となりました。大盛況に終わった初めての政治セミナー。県内外各地からご参加いただいた500名以上の多くの皆様、またご支援・ご声援をいただいた皆様、本当にありがとうございました。

## しゃべりBAR

NPO 法人 スローライフ掛川主催「スローライフ in 掛川 2004」のイベントが1ヶ月間にわたり開催されました。榛葉議員は11月21日(日)掛川グランドホテルの「The Bar」にて「しんば賀津也とゆっくりしゃべりBAR～ユダヤ5,000年のスローライフに学ぼう～」を開催。

イスラエルを巡ってきた体験談やユダヤの歴史についてなど普段なかなか聞く機会がない話に、参加者の皆さんも真剣に耳を傾けていました。また、参加者の方から「自分の生活の中でのスローライフを考えるきっかけとなった。」というご意見もいただきました。皆さんも榛葉議員としゃべりませんか？



## 国会見学

11月25日(木)

歩む会御前崎支部

委員会傍聴・議員会館訪問

歩む会御前崎支部として初めての国会見学旅行を実施しました。当日は、午前11時に参議院議員会館に到着。議員会館食堂にて昼食後、国会議事堂見学、榛葉議員執務室での写真撮影、さらには文教科学委員会傍聴など盛りだくさんの研修となりました。その後、浅草にも立ち寄り、会員相互の親睦も深まった有意義な1日を過ごせました。



## 今春活動企画！

### しんば賀津也 国政報告会

日程 平成17年2月12日(土)

時間 午後2:00

(午後1時受付開始、午後4時終了予定)

会場 掛川市生涯学習センター ホール

講師 白 眞勲(はく しんくん) 参議院議員

入場無料



どなたでも参加できますので、お誘い合わせの上ご来場ください。

同日午前中に役員による第4回総会を開催させていただきます。

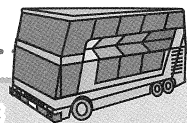
### 早春の東京へ！国会見学&東京ドーム世界らん展 日帰りツアー

日程 平成17年2月23日(水)

会費 1万円(交通費、昼食、らん展入場券を含みます)

定員 40名 定員になり次第締め切らせて頂きます。

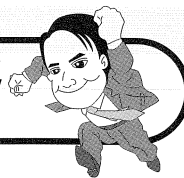
詳細日程等はお問合せください。



### \*各支部 2005活動計画\*

より身近に感じられると好評の座談会を計画中です。また国会見学ツアーや、バーベキューなど楽しい企画も随時計画中です。詳細は次号または各支部チラシにてご案内します。皆様のご参加をお待ちしております。





年金、イラク、台風・地震、「政治とカネ」など、大きな問題を抱えた第161回臨時国会は10月12日～12月3日の会期で開かれました。ここでは9月以降のアクティブな榛葉議員の動きをご紹介します。

## ニュージーランド訪問

9月11日～19日

参議院からの派遣で、ニュージーランドの国会議員との懇談を中心に議員外交を展開。自民党の中曽根弘文議員を団長とし、総勢6名の議員団。このような機会に盛り上がった議論がきっかけとなって議員立法や勉強会立ち上げにつながることも多いのです。



## メディア・フォーラム@マニラ

10月9日～10日

「メディア・フォーラム」とはASEAN各国の国会議員、学者、ジャーナリストが集まって、アジアの将来を熱く語る国際会議。日本代表として舩添要一議員と榛葉議員が出席しました。日本への期待や中国・韓国の捉え方など、第一線で活躍する参加者からのコメントはとても刺激的でした。政権交代の必要性を熱く訴えた榛葉議員は「日本の将来を担う若き民主党議員!」としてしっかり認知されました。フィリピンのアキノ元大統領（写真）との意見交換もしました。



## 中越地震被害者支援 (スタッフ派遣)

10月～11月

10月23日に発生した新潟県中越地震を受けて、当日夜に「民主党新潟県中越地震災害対策本部」を設置しました。静岡県連では、先の台風22号の際に災害対策本部（榛葉議員は事務局長）を立ち上げたところですが、党本部からの呼び掛けにいち早く呼応する形で、県連所属議員のスタッフを新潟に派遣。各事務所のリレー方式で11月13日から27日までの期間、小千谷市にて被災者支援活動を行いました。現地でのノウハウを蓄積し、災害に強い民主党静岡県連をつくって行きます。（写真は右から渡辺事務所 野崎秘書、榛葉事務所 西野・市野、田村事務所 ボランティア田中さん）



## イラク副首相一行と懇談

10月15日

民主党の鳩山ネクスト外務大臣と外交を専門とする議員数名で、イラク復興支援信託基金ドナー委員会のために来日していたイラク暫定政権のサーレム副首相らと懇談しました。以下は、榛葉議員の印象です。（ホームページ掲載の「ウィークリー・コラム」より）  
「暫定政権に携わるイラク人の多くは、欧米で西側のレベルの高い教育を受けている。訛りのない英語を完璧なほどに操る。それは、今回の代表団も例外ではなかった。彼らは会食で出された日本料理を器用に箸を使って食していた。アルコールも問題なく飲むのだという（この時はダイエットコーラを飲んでた）。つまり、暫定政権の中核にいるイラクの新しいリーダーは、相当恵まれた生活水準の人々で、そういう生活環境で暮らしてきた方々なのだということを確認する必要があるだろう。  
問題は、彼らが本当にフセイン時代を耐え抜いてきた一般イラク人の気持ちを理解できているか、ということ。更には、新しいイラクの代表として本当に国民から認知されているか、ということだ。」



## アラファト議長弔問

11月18日

2004年は国内外共に激動の年でしたが、PLOのアラファト議長死去は間違いなく今年の10大ニュース。中東和平をライフワークとする榛葉議員は弔問に伺いました。（写真はパレスチナ総代表部からの礼状）



## 民主党 韓国視察

12月6日～8日

臨時国会終了直後、今度は党務で韓国へ。男女共同参画委員会委員長代理として、韓国で成功した「クオータ制」の実情を調べに行きました。  
「クオータ制」とは、女性の議員を増やすための特効薬として知られている制度で、あらかじめ一定割合の議席を女性が占めるよう設定するものです。この制度の導入可能性を含めて、韓国の議員、政府関係者、学者からヒアリング&意見交換をしてきました。



## 沖縄北方特別委員会にて「一日委員長」 10月29日

国会における珍事に榛葉議員が一役買いました。委員長の木俣議員が風邪で声が出ず、同じ民主の榛葉議員が「一日委員長」を拝命（写真①）。ところが榛葉議員、この日は質問者として立つ日でもありました。そこで考え出されたのが「早替り」——最初は委員長席で執務を行い（写真②）、順番が来たら隣の質問席に移り（写真③）、質問終了後に委員長席に戻る——ことになりました。後ほど各方面の方から「大活躍だったね」とのコメントを頂きました…。



## イラク特別委員会にて総理質問 11月26日

小泉総理に直球勝負を挑みました。  
「軍事的な勝利と政治的な勝利は、総理、全く別でございます。我々は今、このイラクに対していかに政治的な勝利を取めるか、これに全力を傾けなければならない。そして、アメリカやイギリスではこれができないわけでありまして、歴史的にも、まさにここで政治的な勝利をどう日本がリーダーシップを取っていくのか。そのためにはアメリカやイギリスとは違う政治行動を取らなきゃいけないんです」（議事録より）  
一方、小泉総理の答弁は歯切れが悪く、議論が噛み合っていないのにも気付かない様子…。翌日の日経新聞でも榛葉議員の名前入りで総理のあやふやな答弁が掲載されました。（全体の議事録はホームページをご覧ください）



# 賀津也の部屋

## 「気持ちで向かって来いヨ!!」

ノックバットを握りしめた34歳の新米監督の声が冬のグラウンドに響く。私より3年後輩のY君が、某中学校に新設された野球部の監督に就任した。部員はたったの12人。入部して初めて野球を始めた生徒がほとんどだと言う。キャッチボールもままならない選手もいる。しかし、手を抜かず、選手一人ひとりのレベルに合わせて丁寧にノックする彼の姿を見て、監督としての深い愛情を感じた。「目標は?」「3年のうちに練習試合で一勝させてやりたいです」と細い目を更に細くして笑顔で応えてくれた。県大会出場や地区大会優勝を狙うチームが当たり前の中、練習試合での「一勝」をめざす監督と選手。お世辞にも上手いとは言えない彼らのプレーを見て、しかし胸が熱くなった。「野球」と「教育」の原点がそこにあった。12人の野球部員と新米監督が、私を大切な原点に引き戻してくれた。がんばれY君!



1985年7月26日 朝日新聞より  
 榎葉賀津也高校3年 夏の大会3塁コーチ エピソード  
 写真の記事はホームページをご覧ください。

## 現在こんな活動しています (H17.1.1現在)

**所属委員会** 外交防衛委員会 理事  
 沖縄及び北方問題に関する特別委員会 筆頭理事  
 イラク・武力事態特別委員会 委員

**党 職** 「次の内閣」沖縄北方問題担当総括副大臣  
 参議院国会対策委員会 副委員長  
 参議院政策審議会 副会長  
 男女共同参画委員会 委員長代理  
 民主党拉致問題対策本部 事務局次長  
 領土及び海洋権益問題プロジェクトチーム 副座長  
 静岡県連 幹事長

## 委員会でこんな質問しました (H16.10~12)

### ■ 沖縄及び北方問題に関する特別委員会【筆頭理事】

・ 10月29日 8月13日の沖縄への米軍ヘリ墜落事故を受け、長期的な日米関係の観点からも地位協定の改定が必要だと議論を展開

### ■ 外交防衛委員会【理事】

- ・ 11月 2日 イラクでの相次ぐ自衛隊宿営地への攻撃、オランダ軍撤退の影響など治安問題を中心に政府の認識の問題点を指摘
- ・ 11月11日 沼津への米軍ヘリ“予防着陸”(実態は緊急着陸)の問題を取り上げながら、沖縄でのヘリ墜落問題の「その後」の対応を追及
- ・ 11月30日 イラクの実態について矮小化して捉えようとする政府のまやかしの答弁、法的問題点を鋭く指摘

### ■ イラク復興支援・武力事態特別委員会【委員】

・ 11月26日 小泉総理に対して、イラク国内の政治状況や治安状況について総理の認識と政治責任を鋭く追及 (P3に関連記事あり)

すべての議事録はホームページ上でご覧いただけます。  
 (<http://www.k-shimba.com>)

## 2005 in 伊豆 衆議院議員 わたなべ周 新春国政討論会 ご案内 入場無料

日時 平成17年2月10日(木)  
 19:00~20:30  
 会場 下田市民文化会館  
 テーマ 「日本はどこへ行く」

### パネリスト

渡辺 周 衆議院議員  
 原口 一博 衆議院議員  
 安住 淳 衆議院議員

しんば 賀津也 がコーディネーターとして参加

多くのご参加をお待ちしております

## 民主党静岡県7区総支部長

あべたくや **阿部卓也 氏** 決定

1966年(昭和41)10月16日生まれ38歳 ●現在 浜北市議会議員

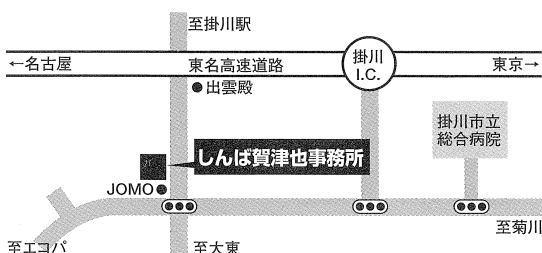
皆様、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。



## 編集後記

あけましておめでとうございます。しんば賀津也と歩む会NEWSも今回でVOL.6の発行となりました。ナイスショットを撮るべく、走る!しんば議員を追いかけて今年もがんばります。本紙へのご意見・ご要望、また榎葉議員への激励の言葉など、どしどしお寄せください。今まで以上に内容の充実をはかって参りますので、今後ともご愛読よろしくお願い申し上げます。

「しんば賀津也と歩む会」会員募集中! わたしたちと一緒に榎葉賀津也の政治活動を支えていただける方を募集しています。詳しくは事務所までお問い合わせください。



【発行者】

## しんば賀津也と歩む会

〒436-0022 静岡県掛川市上張862-1 FGKビル TEL 0537-62-3355 FAX 0537-62-3356

E-mail: [go@k-shimba.com](mailto:go@k-shimba.com)

<http://www.k-shimba.com>

発行責任者: 会長 松下知生

しんば賀津也と歩む会NEWSのお問合せは、榎葉事務所・事務局 市野まで